

# 令和3年度事業報告書 – あじさい園居宅介護支援事業所 –

**テーマ**：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

**サブテーマ**：視野を広げた地域の高齢者・資源の実情など幅広くサーチを行い、備えておくことで在宅サービスの推進に努める

## 1. 適切な手法の実施で公平中立なケアマネジメント支援を行う

- ① 感染拡大予防の観点から、訪問を断られる等のやむを得ない理由がある場合については、利用者の自宅以外での開催や電話・メールなど活用するなど柔軟に対応する事ができた。
- ② コロナウイルス感染や濃厚接触者などでサービスを中止することが何度かあり、休日・夜間・早朝に関係なく他事業所と連携し、サービスの変更や家族支援の相談にて ADL や病状の悪化予防に努める事ができた。

## 2. 医療、介護、障害、福祉サービスの多職種連携、協働を実施する

- ① 主介護者の虐待。認知症と主介護者の精神疾患の事例。また独居で精神疾患もあり生活保護と障害サービスを併用している等の困難事例は三国包括支援センターや行政など他機関とも相談を行い対応。在宅生活の向上や施設入所へ繋げる事ができた。
- ② 必要時には受診の同行を行い、心身や生活環境の状況などご利用者に関する必要な情報の提供を受ける事でスムーズに留意点の確認や在宅のサービスに繋げる事ができた。

## 3. 資質向上、業務の効率化を図る

- ① 研修やケア会議などをオンラインにて対応する事で、コロナウイルス感染の予防を行いながら年間の計画通りに参加する事ができた。
- ② 日々の業務や定期的なケアマネ連絡会にて、事業所間での情報収集を積極的に行う事で、インフォーマルの情報なども取り入れる事ができた。